※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅢ（男子）	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・武道（柔道・剣道）を学ぶ中で礼儀作法を身につけ，日常生活に活かそう。
・対人技能を学ぶ中で他者に対する思いやりや，感謝の気持ちを意識しよう。
・自他の技能を観察・分析することで，技能に対する興味関心を高め，技術の向上を目指す楽しさや，達成感を感じよう。

２　学習の到達目標

技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。その際、攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。また、武道の学習に自主的に取り組み、相手を尊重し、武道の伝統的な行動の仕方を大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどに意欲を持ち、健康や安全を確保することができるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・技能の習得および向上に取り組む。 ・活動の合理的な実践を通して、武道の特性に応じた段階的な技能を身につける。 ・技の名称や見取り稽古の仕方、活動を行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 ・武道の歴史、文化的な特性などについて理解している。	・知識を活用し、技能の向上を目指す。 ・自己や仲間の課題に応じた運動をするための工夫ができる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させる。	・自らすすんで活動の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・健康や安全を確保して主体的に取り組もうとする。 ・自他の技能を客観的に判断できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1年	スポーツⅢ	武道の理解と実践 柔道・剣道から1種目を選択して学習します。	a:武道の学習に自主的に取り組もうとしている。武道の伝統的な所作・礼儀作法を大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方について理解している。 b:自己の技能、体力の程度に応じた技術を身につけている。 提示された攻防の方法から自らに適した方法を選択している。 c:相手の動きに応じた基本動作、応用技、得意技ができる。 武道種目の特性を理解し技の優劣や勝敗を理解できているか	・技能テスト ・技能観察 ・レポート	・技能テスト ・レポート	・受講態度の観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度